

# 東京日々新聞

二百拾號



惡漢茂助

上野國大輪村無宿茂吉其妻つねは一對の  
虎夫狼妻 開が同惡の者と都合四名 越後國  
渡辺村の潜伏せしと 埒玉縣官自ら及び捕亡吏  
今成新左工門等 必力して遂に是と捕獲し 新澤より  
帰途に赴くの船中 官自ら柏崎縣廳へ公用有て  
上陸の隙を 窺ひ

尚  
水主  
ホトモ  
救き速  
さけ油  
断てえす  
一同の手鎖と  
とに繩ひき  
あきう  
驚く今  
成新左  
工門と  
倒し壓伏  
て己ボガ  
縛らまてる。繩とく竟に縊殺す。  
四人あり共。海中に跳入て。おあと  
白浪と逃走せり。これい是  
明治壬申八月十五日のもつ然りと雖も  
天網不洩ゆ。なまらぬとぞ。  
皆こらくく縛らるるをぞ

點化老人誌

甲 貝足屋 彼辺彫榮

